PRESS RELEASE（報道発表資料）

日本政府観光局（JNTO）
Japan National Tourism Organization
経営戦略部　総務広報グループ
TEL:03-3216-1905　FAX:03-3214-7680
http://www.jnto.go.jp

※　本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 25 年 12 月 18 日
理事長　松山　良一

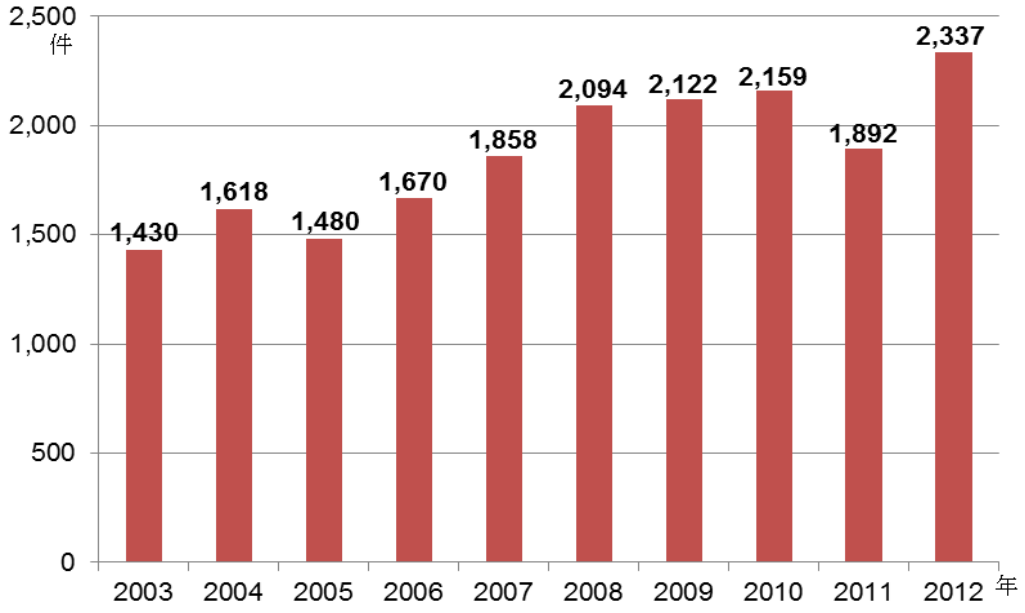
2012 年の「日本の国際会議 開催件数」を発表

～過去 10 年で最多、前年比で 23.5%増、東日本大震災からの回復顕著に～

（概要）

- 2012 年の「日本の国際会議開催件数」は、前年比 23.5%増（445 件増）の 2,337 件。また、外国人参加者数は、前年比 70.9%増（65,121 人増）の 156,914 人。
- 開催件数は 2011 年の東日本大震災による落ち込みから回復し、2010 年の実績からも 8.2%増。
- 観光庁及び日本政府観光局が続けてきた正確な情報の発信、会議主催者への支援レターの発出や各都市の誘致活動の強化などが功を奏し、順調な回復につながったものと見られる。
- なお、都市別の開催件数は、1 位：東京 23 区（500 件）、2 位：福岡市（252 件）、3 位：京都市（196 件）。
- 2013 年についても、東京オリンピック・パラリンピックの招致成功後、大型国際会議開催が連続して決定するなど、今後も大きな伸びが期待される。

資料 1　日本の国際会議開催件数（2003 年～2012 年）

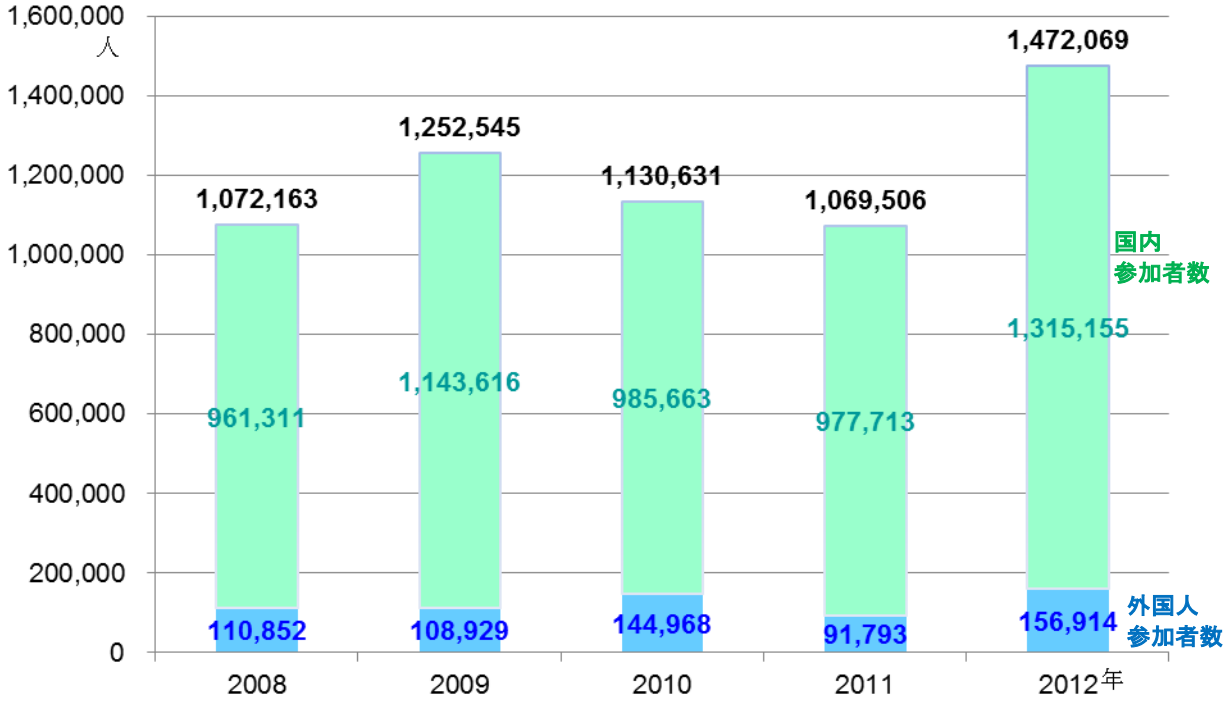


注：　JNTO 統計の「国際会議選定基準」は、2006 年以前と 2007 年以後で異なっているが、本表では、2006 年以前の開催件数を、2007 年以降の「国際会議選定基準」に置き換えて掲載した。

Japan. Endless Discovery.

本件に関するお問い合わせ先：
コンベンション誘致部（青山）
TEL: 03-3216-2905

資料 2　外国人参加者数 及び 参加者総数（2008 年～2012 年）



資料 3　都市別 国際会議の開催件数（2008 年～2012 年）

	2008年	件数（件）	2009年	件数（件）	2010年	件数（件）	2011年	件数（件）	2012年	件数（件）
1位	東京（23区）	480	東京（23区）	497	東京（23区）	491	東京(23区)	470	東京（23区）	500
2位	横浜市	184	福岡市	206	福岡市	216	福岡市	221	福岡市	252
3位	福岡市	172	横浜市	179	横浜市	174	横浜市	169	京都市	196
4位	京都市	171	京都市	164	京都市	155	京都市	137	横浜市	191
5位	名古屋市	130	名古屋市	124	名古屋市	122	名古屋市	112	大阪市	140
6位	神戸市	94	大阪市	94	神戸市	91	神戸市	83	名古屋市	126
7位	つくば地区	80	札幌市	82	札幌市	86	札幌市	73	千里地区	113
8位	札幌市 大阪市	77	神戸市	76	仙台市	72	大阪市	72	神戸市	92
9位			つくば地区	74	つくば地区 大阪市	69	千里地区	54	仙台市	81
10位	千葉市	67	千里地区	71			つくば地区	46	札幌市	61
11位	仙台市	63	千葉市	63	千里地区	65	仙台市	40	つくば地区	53
12位	千里地区	53	仙台市	60	千葉市	56	北九州市	38	北九州市	45
13位	北九州市	47	北九州市	50	北九州市	49	千葉市	30	広島市	37
14位	広島市	32	金沢市	27	奈良市	33	金沢市	26	千葉市	32
15位	奈良市	29	淡路市	25	金沢市	31	広島市	24	奈良市	30

つくば地区：　茨城県のつくば市、土浦市

千里地区：　大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市

参考　JNTO の「国際会議選定基準」について

2006年統計までの旧基準	2007年統計からの新基準
①参加者総数が20名以上で、かつ参加国が日本を含む2か国以上の国際会議 ②または、参加者総数が20名以上で、かつ外国人参加者数が10名以上の国内会議 ③上記2つの条件のいずれかを満たしているセミナー、シンポジウム等	①主催者：　国際機関・国際団体（各国支部を含む）または国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て） ②参加者総数：　50名以上 ③参加国：　日本を含む3か国以上 ④開催期間：　1日以上